

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 26 日 (2009.2.26)

【公表番号】特表 2008-526760 (P2008-526760A)

【公表日】平成 20 年 7 月 24 日 (2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報 2008-029

【出願番号】特願 2007-549637 (P2007-549637)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 1 月 5 日 (2009.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P R A M E、P S M A 及びチロシナーゼから成る群から選択される第 1 の抗原、並びに少なくとも 1 つの他の腫瘍関連抗原を含む、癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 2】

前記抗原が、1) 全抗原、2) 抗原のフラグメント、3) 抗原由来のエピトープクラスター、4) 抗原由来のエピトープ、又は 5) 1 ~ 4 のいずれかをコードする核酸の形態で提供される、請求項 1 に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 3】

前記癌が、卵巣癌、結腸直腸癌、膵臓癌、非小細胞肺癌、メラノーマ、及び腎細胞癌腫から成る群から選択される、請求項 1 又は 2 に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの他の腫瘍関連抗原が、P R A M E、P S M A、N Y - E S O - 1、S S X - 2、M A G E タンパク質、M A G E - 3、及び M e l a n - A から成る群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、P S M A 抗原、並びに P R A M E、N Y - E S O 及び S S X - 2 から選択される少なくとも 1 つのさらなる抗原を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、P R A M E 抗原、並びに N Y - E S O 及び S S X - 2 から選択される少なくとも 1 つのさらなる抗原を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 7】

腫瘍新生血管系と関連する抗原、成長因子及びシグナル伝達タンパク質から成る群から選択される少なくとも 1 つの抗原をさらに含む、請求項 5 に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 8】

前記腫瘍新生血管系と関連する抗原が、P S M A、V E G F R 2 及び T i e - 2 から成る群から選択される、請求項 7 に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 9】

前記成長因子が V E G F - A である、請求項 7 又は 8 に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 10】

前記シグナル伝達タンパク質が P L K 1 である、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 11】

前記抗原が新生血管系又は他の間質抗原をさらに含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 12】

前記抗原が細胞外因子をさらに含む、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 13】

前記抗原が非標的抗原をさらに含む、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 14】

腫瘍の成長、生存、侵襲性又は転移を促進する因子に対する免疫を誘導する手段をさらに含む、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 15】

前記腫瘍関連抗原のためのバースタンダーによる援助を誘導する手段をさらに含む、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。

【請求項 16】

腫瘍病巣において炎症を引き起こす手段をさらに含む、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の癌の治療のための免疫性組成物。